

▶店の前で店主の堀悟郎さんと息子さん  
さんの広幸さん



## お気に入り追加

明智町498-1  
**土田金商店**  
☎54-2046



市民の皆さんのお気に入りを紹介してもらおうこのコーナー。記念すべき第1回は明智町の杉山淳さんの紹介で明智振興事務所のすぐ近くにある製麺所、土田金商店を訪ねました。——「この地でうどん屋を始めて今年で123年目。乾麺作り専門になったのは80年前から」とは、店主の堀悟郎さん。毎日、約一万食のうどん、きしめん、ひやむぎなどを製造しています。材料は小麦粉

と食塩水のみ。添加物を一切加えず、季節によって食塩水の量を調整しながら、客の好みに合わせ、夏は薄めに、冬は厚めの麺に仕上げています。

「人工的に熱を加えると見栄えも良く、日持ちもするが、その分味が落ちる」と自然乾燥にこだわり、2日間かけてじっくり乾燥させます。

このこだわりがあるからこそ、往年の大投手、金田正一さんをはじめ、

お得意さんには各界の著名人がずらりと名を連ねています。

店頭販売のほか、大手スーパーでも買い求められます。また地方発送もやっているそうです。



### 私のお気に入り

杉山淳さん(明智町新町2)

「この麺は、どれも美味しい! 一味違う、うまさがある。僕のお薦めは、釜あげうどんだね」

このコーナーでは、おいしいお店や素晴らしい景色など、市民の皆さんに紹介したい「あなたのお気に入りの場所」を募集しています。



かた だ おう た  
片田旺汰くん H14.9.4生  
妹が生まれたばかりのお兄ちゃん。今までより甘えるようになったけど、妹のこともよくかわいがってくれます。元気に育ってね。  
長島町中野・中西  
片田岳史さん・恵美さん

## はい! ポーズ😊



まつばら ゆう が  
松原優汰くん(右)H12.9.9生  
たくむ  
拓夢くん(左)H16.8.11生  
弟が生まれるのを楽しみにしていた優汰。今は本当に優しく大事にしてくれてありがとう。これからも拓夢と仲良くね。  
明智町友愛  
松原健介さん・彩未さん



ふじい み お  
藤井美緒ちゃん H15.11.3生  
お兄ちゃん、お姉ちゃんにいつも遊んでもらっています。早く一緒に外で遊べるようになるといいね。

岩村町山上  
藤井孝司さん・和美さん

このコーナーでは、1歳・2歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。12月に誕生日を迎えるお子さんの写真に住所(自治会)、氏名、生年月日、電話番号、両親の氏名と簡単なコメントを添えて、11月15日(月)までに申し込みください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。申し込み・問い合わせ 〒509-7292市役所秘書広報課広報係(内線311・古屋)



へぼでまちおこし  
くしはらへぼ愛好会会長

み やけ なお み  
**三宅尚巳**さん

串原木根・79歳

「仕事で山に入っているうちに、自然とへぼに興味を持ち始めた」と語るのは、くしはらへぼ愛好会の会長で、全国地蜂連合会の会長でもある三宅直巳さん。  
貴重なたんばく源だったへぼは、田んぼや畑の土手に生息していたが、年々乱雑な捕獲でその数も減少。そこでへぼを保護・増殖しようと地元仲間と、平成五年一月にへぼ愛好会を結成。当時は、約五十人だった会員も現在では、約百人に上る。  
「山が荒れていると、へぼは巣を作らない。へぼのためにも、木のためにも山の手入れが大切。会員には率先して間伐を行って貰っている」  
春は増殖のため、へぼの巣を捕り、独自の方法で飼育。女王バチと雄バチを交尾させ、越冬を待ってから山へ放す。最初はビニールハウスからの出費で失敗もあったが、小屋を作り、巣箱「三宅式へぼハウス」を考案。出入り口に砂糖水を欠かさず置いたり、栄養剤を与えたりして、創意工夫を凝らし、今では約六割から七割の割合で越冬するようになった。今年度は、温度が一定に保てるよう初の試みとして、室内で飼うなど、まだまだ研究に余念がない。  
三宅さんの名は全国の愛好家の間に知れ渡り、家には巣の見学に来たり、育て方を聞きに来たりする人も



## かわいい孫のような存在



三宅式と呼ばれる巣箱の前で

多く、毎日忙しく過ごしている。また秋の味覚として愛好会では、へぼ釜めしやつくだ煮だけでなく、姿が苦手という方にも好評なへぼ五平もちなどを提供し、物産展やイベントの際には行列ができるほど。  
「へぼの味は香ばしく、こくがある。昔を懐かしんで味わう方も多いです」と、自慢の味に胸を張る。  
毎年十一月三日に串原で行われる全国へぼの巣コンテスト。巣の重さを競うこの大会では、全国各地からの参加者も多く、交流が深められている。またへぼ料理のおもてなしもあり、地域を上げての一大イベント。年々飼育技術の向上や生態の研究が進んでいる中、今年は何れが優勝するのか楽しみだ。